

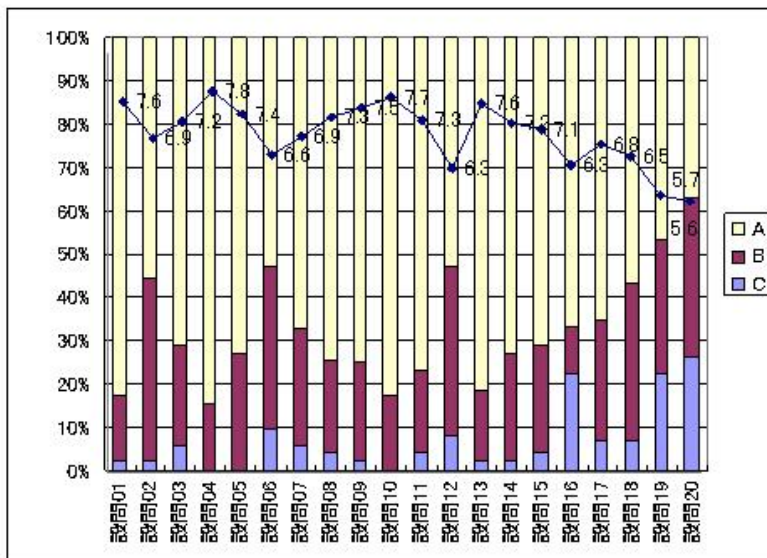
平成21年度後学期 学生による授業評価アンケート調査（最終）
「アンケート結果に応じて」

所属部局	法務研究科（人文学部法学科）		氏名	藤本 亮			
講義コード	2351005010		講義名	社会情報処理論			
開講曜日	水曜日	13・14時限	専門科目	・ 全学教育科目			
授業回数	13 回	休講回数	0 回	補講回数	0 回	受講登録者数	55 人

成績評価に際し注意した事項

試験は行わず、出席点、毎時間の課題、小テスト、最終課題、さらに毎時間オプションの課題を課した。オプション課題は加点要素とした。これらの点数を合計し（満点で181点）、平均値と標準偏差を調整して成績を計算した。なお、試験に代わる最終課題未提出者は、積算得点にかかわらず不可とした（シラバス・初回授業時配布文書に記載済）。

報告内容



左の図は受講生諸君の評価を图示したものである。授業評価の質問は問1～15である。棒グラフで回答比率をみると、A評価（A+，A，A-）が問2（板書）、問6（進度）、問12（難易度）で60%を切っている。その他の設問はすべて概ね70%以上がA評価である。C評価はいずれの設問ともたいへん小さい。本授業は法学科専門科目の一であり、一般に法情報学と呼ばれる科目に相当するもので、法律学専門学習に備える内容である。法律学の入門科目

目をまったく履修したことがない場合はなかなかとつきにくいと思われる。内容的に他専攻学生にも一定の配慮はしてすすめたが、それでも前年より多数が受講した（他に授業が開講されていなかった）経済学科学生にとっては受講の動機づけが弱かったと考える。空き時間だからと安易に授業をとるのではなく、よく考えてから受講されたい。他方で授業受講態度を尋ねたオプション質問ではQ18（指定以外の他学生レポート読んだ）、Q19（フォーラム読んだ）でB回答やC回答が多いのであって、学生諸君のより積極的な受講態度を期待したい。受け身の受講態度では教員がさまざまな努力をしてもその効果は期待薄

である。平均値でみると、概ねA-相当の7.0以上であり、全体としての評価は良好であったと考える。B評価の多かった項目についてさらに改善をはかりたい。

参考までに、次の図は、横軸には授業の総合評価たる設問14と設問1から15までとの相関係数をとり、縦軸に各設問のA評価率を百分率でとった散布図である。上記のとおり全設問にわたり分布が肯定的評価に偏っているため、相対的な値の大小を極度に強調してしまう「偏差値CSグラフ」に対比して、ここでは観察された値をそのままプロットした。

